

第3回久留米市市民センター多目的棟指定管理者候補者選定委員会 会議録

日 時：令和元年11月8日（金）13時59分～15時13分

場 所：市役所12階会議室

出席委員：福澤朋子委員、佐藤小枝子委員、深山和義委員、西村信二委員、白谷由紀子委員
（全員出席）

議事の経過

1. 開会

【委員長】

開会のあいさつ

2. 経過報告

【事務局】

第2回選定委員会以降の経過（「指定管理者の候補者の選定の特例」による応募）を報告。

3. 議事

（1）一次審査（書類審査）

【事務局】

応募団体概要の説明。

応募書類の事前審査においては不備がないことを報告。

【委員長】

改めて、委員の皆さまに資格の有無について審査を行っていただくことになる。意見、質問等があればお願いします。意見がなければ、一次審査合格とし、次の二次審査に進めてよろしいか。

《委員一同承認》

（2）二次審査（プレゼンテーション審査）の説明

【事務局】

採点方法について説明。5段階評価としており、委員一人の持ち点は100点。

審査スケジュールについて説明。申請者からの説明20分、質疑応答25分、採点5分。

質問分野の説明。各委員の質問分野を提案。

【委員長】

3つの項目について委員の皆さま、意見、質問等あればお願いします。

《委員一同承認》

【委員長】

この質問分野で決定する。

2. 二次審査（プレゼンテーション審査）（※質問及び回答は要旨）

【A団体】

【委員質問・意見】

地域住民、利用団体、ボランティア団体との連携について再度説明を聞きたい。

【A団体回答】

多目的に集まった人が交流しあう仕組みづくりが大事だと考えている。

利用団体とは意見交換をする中で信頼関係を築いていく。

地域住民の方は、同じ地域づくりをする仲間、パートナーとっていて、施設に足を運んでいただくことに力をいれていく。そうすることにより地域住民の方と利用者の方との連携が図られていく。

ボランティア団体は講座の講師、スタッフとしてやっていただけるような連携をしていく。

【委員質問・意見】

収入見込みを下回った場合の、対策は考えているのか。

【A団体回答】

長年、公共施設を管理運営する中で、運転資金を確保している。もし、下回った場合はその財源を使いながらやっていく。

【委員質問・意見】

障害をお持ちの方に対する配慮は考えているのか。

【A団体回答】

多目的棟にバリアフリーの施設が備わっており、それをしっかり維持管理していく。また、案内表示もやっていく。

【委員質問・意見】

有給休暇及び研修派遣時等の代替対応は可能か。病気等の突発的な欠勤に対する対応策はできているのか。

【A団体回答】

有給休暇・研修が発生してもローテーションの中で賄えるような勤務体制としている。

長期の病気休暇は、臨時職員を配置できるように常に予算措置をしている。

【委員質問・意見】

貴団体が指定管理者となった場合の利用者・利用団体にとってのメリットは何か。

【A団体回答】

利用者が主役である施設を目指しており、利用者の意見が事業やイベントに反映する仕組みが大事だと思っている。それができると利用者が喜ぶ講座やイベントが実施できるので、一つのメリットだと考える。

次に、安心して施設を利用してもらえるように、施設の修繕の必要性をしっかりと把握し、市と情報交換しながら、施設の安全な維持に努めていく。そうすることで安心感を提供していきたい。

最後に、管理運営のなかで生まれた利益は、事業の充実や利用者のための施設備品の購入など、利用者が活動しやすくなるような使い方をして喜んでもらえたらと思う。

【委員質問・意見】

公の施設を管理運営する中で、貴団体がもっとも大切にしている考え方は何か。

【A団体回答】

それぞれの公共施設には設置目的があり、それを確実に達成すること。いかに利用者が主役となった施設になり得るかが一番のポイントと考えている。利益を追求することなく、利用者や利用団体の活動、交流が盛んな施設にしたい。

【委員質問・意見】

多目的棟という施設をこのように運営したいと特に思うことがあれば聞きたい。

【A団体回答】

自分たちと利用者との距離が近くなって、講座やイベントなどを一緒に話しながらつくりあげていきたい。利用者と一緒に考えながらやっていけるような、市民活動のプラットフォームを実現させたい。

3. 選定会議（※発言は要旨）

【事務局】

各委員の採点の集計結果を提示し説明。

【委員長】

この採点の結果のとおり、A団体を優先交渉権者とするということで決定いたしたいと思うがいかがか。

《委員一同承認》

【委員長】

審議については以上だが、講評をお願いしたい。

【講評】

長年の実績があることと、新たな事業を展開しようとする提案書やプレゼンテーションも非常に意欲がみられ、安心してお願いできるのではないかと思った。

4. その他

【事務局】

今後のスケジュールについて説明。

《委員一同質疑なし》

5. 閉会